

## 教職実践演習

2 単位 (選択) 4 年

梶原 京子・教授/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 奥田 紀久子・准教授/保健学科 看護学専攻 地域・精神看護学講座, 宮崎 久美子・講師/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

【授業目的】 1. 養護教諭として教育に対する使命感, 責任感, 倫理感を養う 2. 社会, 組織の一員としての社会性, コミュニケーション能力を養う 3. 児童生徒理解及び保健室経営能力を養う 4. 養護教諭として健康教育に関する指導力を高める

【授業概要】 これまでの学習や研究, 養護実習で得られた理論や知識からより発展させ, それらを統合し, 教育職としてのさらなる自覚と認識を深める. また養護教諭として教育に対する使命感, 責任感を自覚し確かな教職実践力, 指導力を有する養護教諭の資質能力の総体を構造的に捉え, 確認を行う. 授業形態は, 講義, 演習, フィールドワーク, 模擬授業等を取り入れ, 将来養護教諭として現場に対応できる実践的な授業を展開する.

【先行科目】 『養護実習』(1.0)

### 【授業計画】

1. ガイダンス, 教職実践演習の趣旨, 授業計画の説明
2. 履修科目, 内容の確認 (講義, グループ討議)
3. 学校組織, 運営, 教育目標, 学校生活等について (講義, グループ討議)
4. 教育職の社会に果たす役割, 学校教育における養護教諭の役割 (グループ討議)
5. 保健室活動の展開 (事例検討, ロールプレイング)
6. 保健室活動の展開 (事例検討, ロールプレイング)
7. ・ 学校安全計画の立案作成, 健康診断の実際・救急処置・保健室登校児童への対応
8. ・ 学校安全計画の立案作成, 健康診断の実際・救急処置・保健室登校児童への対応
9. 心と体の健康問題の把握とその対応・関係職員, 機関との連携
10. 小学校・中学校・特殊支援学校における養護教諭役割 (見学実習 フィールドワーク)
11. 模擬保健指導—指導案の作成と発表—(グループワーク)
12. 模擬保健指導—指導法の検討—(グループワーク)
13. 「保健だより」の作成
14. 望ましい養護教諭像を目指しての自己課題 (発表)
15. まとめ

【成績評価】 出席状況, グループワークへの参加状況, 発表内容, レポート

【教科書】 使用しない

【参考書】 必要に応じて配布する

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=222311>

【連絡先】

⇒ 梶原 .

⇒ 奥田 (088-633-9041, [okuda@medsci.tokushima-u.ac.jp](mailto:okuda@medsci.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: 月曜日 17:00~ 18:00)